



## 転地教育を支えた指南メンバー



帰国後、息子の喘息が切っ掛けでジャーナリズム業界から身を引き、カナディアン・アカデミー・セタガヤ校(CAS)を1984年に開校。その3年後、留学部門を併設し短期・長期の仕事も発展させた。教育には素人だった私は不登校生、引きこもり青年のカウンセリングをボランティアで引き受け教育現場の取材を開始した。IT時代のお陰でCASのホームページで、私の海外生活などのプロフィールを検索された方々からの問い合わせが全国から入るようになる。直感的に病気の転地療養があるように、管理教育に反発する不登校生、IT時代の環境に心を閉ざす青年に留学を軸にした「転地教育」が閃いた。転地教育の実践が3年すぎた頃、井口潔先生の「人間科学 - 21世紀を拓く道」セミナーに参加。その後は常任理事として実践を発表したり、教育現場にご一緒に足を運ぶ機会を与えられ生物学と脳科学の学びを深めて行った。暑さに弱い私は、帰宅途中の冷房が効いた電車の中で疑問を投げかけた。「先生、不思議なんです。CAS、親御さん、現地校の三位一体のサポート体制を整え、3か月短期留学に出発した不登校生、引きこもり青年が何故、長期留学を希望するのか明確な回答が見つからず困っています」。すると「難波君、それは医学的にも不思議ではないよ、60兆個の人間の細胞は3か月すると入れ替わると言われているよ」とのお返事。試してガッテン！思わず膝打ちをしていた自分を思い出す。この実践ではジャーナリスト時代の取材力が大いに役立った。何とか我が子を助けたい必死の相談者は、嫁と姑問題、夫婦問題、ご近所問題等々を私相手に吐き出し始める。地方からの相談者とは羽田空港近くのホテルのラウンジで数時間、聴き役の立ち位置で取材をしたケースも多々ある。当時の取材ノートに綴った戒め俳句。「聴く耳をもって 叱ってくれる ミッチ」\*\*転地教育の実践は小学館発行「ヒトの教育」に収められている。

最近、世田谷区主催の前文科省事務次官・前川喜平氏の講演後の懇親会で顔を合わせる機会があった。10年前、不登校生の転地教育に対し助成金を受けたことを伝えると、その判断をしたのは私ですと言われ心底おどろいた。しかし、一方でJFSA(日本フリースクール協会)の副理事をしている関係から、同氏が現役時代から不登校生塾でボランティア活動をされている事は耳にしていたので合点は行ったのだが。この紙面で紹介している金丸連が不登校気味だった頃、寄り添ってくれたアンジェラ深作も転地教育の指南メンバー。\*\*CASの実践は明石書店発行「多国籍ジパングの主役たち-新開国考」に収められている。これから私は金丸連の町興しプロジェクトを、井口メソッドの「おばあさん仮説」で支えて行きたい。アンジェラの忍耐ある指導に対し仕事場の写真に向かい合掌。この紙面のトップ記事で紹介しているICSが35年の歴史に幕を閉じた。注文の多い私の転地教育の実践に理解を示し、忍耐のコラボを続けて戴いたアカデミー部代表・Helen Gorskiと関係者のご厚意に深い感謝を贈りたい。

NPO法人 ハロードリーム  
三世代笑顔のプロジェクト・スマイルクローバー

ハンター

It's fun to have a grandma, especially one like you- You're extra special and extra nice, and loved a whole lot, too! Happy Grandparents Day.

勝又若菜

無事に勝又若菜が1年留学を終えて帰国。祖母、母親(元CAS留学生)とお礼に上京した若菜。

**Dear Michi,** 彩子がかねてから孫の弦を小学校に体験入学させたいと願っていて現地でも日本の国語の教科書に特化した塾に通わせています。官民ファンドの話はいつか誘いがあったのかは知りませんが、たまたま夏にかけて立ち上げのプロジェクトの詰めがあったのだらうと思います。来年も弦は日本に来るでしょう。彩子の壮大な?計画によれば多分6年生までさせたいのだと思います。私は3、4年生まででいいのではないかと考えますが弦が日本大好き人間なのでひょっとしたら6年生まで来るかもしれませんね。ついていければの話ですし、ついていけなくともほかの楽しみがあれば来日の動機づけはありますね。 保田淑美

**国内最大の官民ファンドJICが  
空中分解**

保田彩子(カリフォルニア大学教授・JIC社外取締役)「日本の官民ファンドの下で働きたいと思ってもらうためには、ルールベースの、法、契約に基づいたガバナンスを保証しなくてはなりません。なぜなら、(特に国際)ビジネスは契約に基づいて信用が構築されていくものだからです。いったん文書を交わしたら、たとえ誰であっても法の下の一法人格で交わした相手と同レベルの法律上の扱いを受ける、それを保証できるということが法治国家であると思います」【2018年12月10日朝日新聞より】

浅草寺境内で遊ぶ南沢空見くん(左)と保田弦くん。弦君は米国在住。夏休みで東京の小学校に通い仲良くなった。弦君の帰国で遊ぶのはこの日が最後。再会を誓った=東京都台東区で、渡部直樹撮影  
【2018年8月1日毎日新聞夕刊3面より】

**Dear Michi,** 相変わらず大活躍しているご様子 頼もしくも誇らしくも感じます。私の方も相変わらず日々マフープログに「独断と偏見」を書き世の中をきりまくっています。孫の健太も筑波インターに元気に楽しく通学して居ります。英語力もかなりのようで先生にも期待されているようです。今後の教育のことについても別にお教え頂きたいと思って居ります。 中島 清(前日本フリースクール協会会長)

- Congratulations!!**
- \* 加納佑麻 Long Bay College 入学
  - \* 和田令史 コルドンブルー入学
  - \* 金丸 連 ヘンリー・ジェームス・キャンビー高校卒業  
上智大学総合グローバル学部入学
  - \* 勝又若菜 International House入学
  - \* 石丸雄介 International House入学
  - \* 高橋亜佑 SELK入学
  - \* 森本琴音 中央大学国際経営学部合格

**Dear Michi,** 昨日無事帰国しました！10日間のイタリア、フランス旅行でしたが、連と5か月間に渡りゆっくり計画した成果が見事に達成されたと思います！休業するなど様々なリスクを抱えての思い切った決行となりましたが、本当に素晴らしい旅が出来ました。これも連のナビゲートと通訳の賜物です。連も体力的にも言葉にも不自由な両親を連れてハードなスケジュールをこなす為に密かに相当な準備をしていただいていたと思います。ミッチー先生にも改めて感謝致します。 金丸信乃(連の母)



金丸 連

# MAPLE NEWS

2018年 Vol.77

ICS - International Colleagues School of English (est. 1978) is accredited by the UK Visas & Immigration (UKVI) approved Accreditation Body for Language Services (ABLS).

Over 35 years of excellence

**My dear Michi**  
Sorry I have not been in contact for such a long time! Now I am writing with some news about ICS. Jonathan and I will retire at the end of August and after 40 years the school will close. We have both been here for nearly all that time.....  
Thank you Michi for being such a wonderful person to work with over the years. You recommended so many students to us and we have met so many lovely people through you. I have really appreciated that opportunity.  
I personally have very much enjoyed discovering your country, its culture and people and you have helped me to do this. I feel privileged to have met you and to have played a small part in some of your many projects helping others.  
I will be spending the Autumn helping take care of my parents who are still at home but very frail and unwell. Then I will be looking for some freelance teaching and also to do a bit of travelling, possibly, hopefully combining both these things!  
Jonathan will continue his work for his environmental agency and our lives will certainly be very different.....  
Hoping you and all your family are keeping well  
With very best wishes from Helen

Helen Gorski  
Academic Director

International Colleagues School of English

